

令和4年度

東オホーツクシーニックバイウェイ

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウェイルート 代表 桜井 あけみ	報告年月日: 2023/5/12
----------------------------	------------------------------------	------------------

ルート (エリア) 運営活動計画方針	ルート (エリア) 運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
景観づくり	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	-	-	-	-	-	-	R243、R334それぞれの秀逸な道区間での活動が実施できた。今後も継続の予定。 R334ガードレールの雪かき除雪は、オホーツク海の良好な景観を観ることができ取組みで大好評である。人的な力を必要とするため、今後とも他機関との連携を図りつつ継続的に実施したい。	
		1	令和4年度網走湖クリーン作戦	網走観光協会	令和4年4月24日	350名 ・主催者30名 ・一般参加320名			
		2	R243沿道清掃	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議 (美幌エリア)	令和4年5月25日	35名 ・主催者12名 ・一般参加23名	A - 3		
		3	沿道の植栽活動の実施	しれとこウトロ・フォーラム 21	令和4年6月4日	80名 ・主催者10名 ・一般参加70名			
		4	ガードレールの雪かきボランティア	しれとこウトロ・フォーラム 21	令和5年2月4日	162名 ・主催者10名 ・一般参加152名			
	鮮やかな四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	R334イタドリ伐採	5	R334イタドリ伐採	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議 (斜里エリア)	令和4年6月4日	31名 ・主催者5名 ・一般参加26名	A - 2	秀逸な道パネル展以外は、予算面などから、他活動を優先した。 今後は、活動方針の見直しを図るとともに、資金をあまり必要とせずに実現できる取組みの実施、支援金システムによる活動支援を行っていきたい。
		網走湖周辺の水芭蕉の保全活動	-	-	-	-	-		
		花を見る木道づくりの推進	-	-	-	-	-		
		東オホーツク花カレンダーの作成	-	-	-	-	-		
		東オホーツク花シンポジウムの実施	-	-	-	-	-		
ビューポイントを再発見・創出する	秀逸な道パネル展	6	秀逸な道パネル展	美幌歩こう会	令和4年10月2日	15名 ・主催者15名			
	景観探しツアーの実施	-	-	-	-	-	SNSを活用して、動画を含めたフォトコンテストを開催することができた。また、各地点の景観写真は以前に撮影したものが多いため、今後は積極的に撮影・ストックを行ってきたい。		
	東オホーツクフォトコンテストの実施	7	国道243号線の白樺並木動画・フォトコンテスト	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議 (美幌エリア)	令和4年8月1日～9月30日	38名 ・主催者10名 ・一般参加28名			
	ビューポイントの再発見及び創出とビューポイントマップづくり	-	-	-	-	-			
	ビューポイントパーキングの拡充と保全	4	ガードレールの雪かきボランティア	しれとこウトロ・フォーラム 21	令和5年2月4日	162名 ・主催者10名 ・一般参加152名			
	地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施	-	-	-	-	-			
シーニックデッキの維持管理	8	シーニックデッキの維持管理	清里町商工会、NPO法人きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、大空観光協会、小清水観光協会、網走観光協会	令和4年4月～10月	15名 ・主催者15名				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート		報告者: 東オホーツクシーニックバイウェイルート 代表 桜井 あけみ					報告年月日: 2023/5/12		
ルート (エリア) 運営活動計画方針	ルート (エリア) 運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
地域づくり	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施	-	-	-	-	-		R334ウトロでのシーニックマルシェは観光給事故の影響から中止となった。 R243秀逸な道候補区間では、新たなPRイベントを企画・実施した。
		地域特産物の販売やPR活動	-	シーニックまつり in 峠の湯美幌	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議 (美幌エリア)	令和4年10月2日	110名 ・主催者10名 ・一般参加100名		
		先住民族フォーラムの実施	-	-	-	-	-		
		植林事業等の実施	-	-	-	-	-		
	楽しみの創出(東オホーツク文化・ライブの追求)	温泉情報マップの作成	-	シーニックマップVOL10の作成	-	-	-		今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせずに実現できる取り組みの実施、支援金システムによる活動支援を行ってきたい。
		文化施設等との連携による文化発信	9	道の駅スタンプラリー	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	令和4年4月15日～10月30日	約1300名 ・主催者1名 ・一般参加約1300名		
		フットバスづくり	-	-	-	-	-		
		オホーツクバーボンの研究	-	-	-	-	-		
		外国人交流の実施と誘致	-	-	-	-	-		
		オホーツクのオリジナル食メニューの研究	-	-	-	-	-		
	地域連携による地域情報の発信	スポーツイベントの実施	10	グランドフロントきよさと	グランフオンドきよさと実行委員会 (主催) NPO法人きよさと観光協会 (主管)	令和4年7月1日～7月2日	50名 ・主催者20名 ・一般参加30名		情報発信については、SNSの更新をイベント前後等に継続して実施した。
		活動団体向けニュースペーパーの発行	-	-	-	-	-		
HPの創出と各町観光情報とのリンク		-	-	-	-	-			
		11	ルートFacebook開設による情報発信	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	令和3年1月25日～	-			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート		報告者: 東オホーツクシーニックバイウェイルート 代表 桜井 あけみ					報告年月日: 2023/5/12		
ルート (エリア) 運営活動計画方針	ルート (エリア) 運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
観光振興	風を感じさせるマグネットポイントの創出	シーニックデッキの創出	12	あばしりフロックス公園 (網走)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	令和4年4月上旬～9月上旬	15名 (主催者15名)	A - 1	ルート内各エリアにあるデッキの維持管理をエリア幹事で分担して実施している。 峠の湯びほろがシーニックデッキとカフェ、きよ～るがカフェの追加登録となった。
			13	メルヘンの丘 (大空)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	令和4年4月下旬～10月末頃	15名 (主催者15名)		
			14	季風クラブ (斜里)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	令和4年4月下旬～10月末頃	15名 (主催者15名)		
			15	きよ～る (清里)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	令和4年4月下旬～10月末頃	15名 (主催者15名)		
			16	コミット (清里)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	令和4年4月下旬～10月末頃	15名 (主催者15名)		
			17	斜里岳山小屋清岳荘 (清里)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	令和4年6月中旬～9月下旬	15名 (主催者15名)		
			18	小清水リリーパーク (小清水)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	令和4年7月中旬～9月上旬	15名 (主催者15名)		
			19	上斜里南駐車場 (清里)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	令和4年7月中旬～9月上旬	15名 (主催者15名)		
			20	峠の湯びほろ (美幌)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	令和4年7月中旬～9月上旬	15名 (主催者15名)		
			各地毎の滞在メニューの創出・連携	流氷茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出 サケ・サクラマスを見れる拠点の創出や清掃 東オホーツクウォーキングルートの選定とフットパスづくり ホーストレッキングルートの選定 エコツアーの連携や自然探検ツアーの実施	21	流氷ウォーク	NPO法人知床ナチュラリスト協会		
馬やバルーン景観の研究								新たな観光体験型のメニューとなりえる活動などの実施について調査・研究を行っていきたい。	
東オホーツクトラベルの研究									
東オホーツク観光塾の創出									
東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり									
東オホーツク型観光の研究									

東オホーツクシーニックバイウェイ

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

活動名：『シーニックデッキの創出』

- 【概要】 景観の良い駐車スペースのあるポイントに、シーニックデッキを設置し旅行者などがゆっくりと景色を眺め休憩する事により、東オホーツク地域全体の景観PRをはじめ、地域との交流や、農産物の特産品販売等、コミュニティビジネスの創出の可能性も高まる。さらに道路利用者のオアシスとして交通安全に寄与する。
- 【設置箇所】 斜里岳山小屋清岳荘（清里町字江南）、メルヘンの丘（大空町女満別）、季風クラブ（斜里町ウトロ）、上斜里南駐車場（清里町札弦）、コミット（清里町水元町）、きよ〜る（清里町羽衣町）、あばしりフロックス公園（網走市呼人）、小清水リリーパーク（小清水町元町）、峠の湯びほろ（美幌町都橋）
- 【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議



R4年度登録された峠の湯びほろのシーニックデッキ



きよ〜る(清里町羽衣町)のシーニックデッキ

東オホーツクシーニックバイウェイ

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

活動名：R334イタドリ伐採

【概要】 秀逸な道区間としてのドライバー目線での良好な走行景観の提供等を目的に、東オホーツクシーニックバイウェイ斜里エリアの活動団体である「しれとこウトロフォーラム21」を中心に、網走開発建設部、SNS・チラシで募集したボランティア等により、秀逸な道区間の特徴的な景観資源でもあり、ウトロへのゲートでもある「カメ岩」への眺望景観を確保するように、沿道のオオイトドリの伐採を実施した。

【実施月日】 令和4年6月4日

【実施場所】 R334斜里町ウトロ ウトロトンネル入り口～フンベ川河口付近（約400m）

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ斜里エリア（しれとこウトロフォーラム21）

【参加人数】 31人



▲参加者募集チラシ



伐採前



伐採後



伐採中



東オホーツクシーニックバイウェイ

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

活動名：R243沿道清掃

【概要】 秀逸な道候補区間として、選定区間昇格に向けた当該区間誘客に資する良好景観の向上・維持を行う目的から、東オホーツクシーニックバイウェイ美幌エリアの活動団体である「美幌歩こう会」を中心に、網走開発建設部、美幌町、民間企業（当該国道維持関連）等により、秀逸な道候補区間における沿道ゴミ拾いを実施。

【実施月日】 令和4年5月25日

【実施場所】 R243秀逸な道候補区間（美幌町福住地区の約4km）

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ美幌エリア（美幌歩こう会）

【参加人数】 35人



▲清掃活動状況



▲参加者記念撮影

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 網走開発建設部	報告年月: 2023/5/12
----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	令和4年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	ガードレールの雪かきボランティア	令和5年2月4日	しれとこウトロ・フォーラム21	冬季のオホーツク海流水の良好な景観を走行中の車両から楽しめるようにするため、斜里町及び網走開発建設部の関係職員も参加して、ガードレールの除雪を行った。	これらの活動の多くは、年を経るにつれて、地域イベントとして地元住民等に認知されてきたように感じる。 今後とも当部を含めた行政機関の関係職員による積極的な参加体制を構築していきたい。	
		R334イタドリ伐採	令和4年6月4日	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議(斜里エリア)	秀逸な道区間であるR334ウトロ亀岩付近の景観を阻害するイタドリ伐採を行った。網走開発建設部では、伐採補助を行った。		
		R243沿道清掃	令和4年5月25日	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議(美幌エリア)	秀逸な道候補区間であるR243峠の湯びほろ付近の沿道ゴミ拾い採を行った。網走開発建設部では、備品調達、ゴミ拾い補助を行った。		
	鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	ウトロ沿道に花を植えよう	令和4年6月4日	しれとこウトロ・フォーラム21	網走開発建設部によるVSP(ボランティア・サポート・プログラム)の一環として、SBW活動団体「しれとこウトロフォーラム21」の主催により、道の駅「うとろ・シリエトク」周辺の一般国道334号沿線上での植栽活動が行われた。網走開発建設部では、花植え作業補助を行った。		
		秀逸な道パネル展	令和4年2月4日	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議・網走開発建設部	秀逸な道のPRとしてR334秀逸な道区間の良好な景観、地域PRで構成されたパネルの展示を道の駅ウトロ・シリエトクで行った。網走開発建設部では、秀逸な道パネル提供、パネル設営の協力を行った。		
	ビューポイントを再発見・創出する	「流氷展望ひろば」設置への協力	-	網走開発建設部外	R4年度は道路工事実施のため中止した。		
地域	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	シーニックパネル展の実施	令和4年 ①10月4日～24日 ②11月14日～28日 ③12月5日～19日 令和5年 ④1月23日～2月6日	網走開発建設部	SBWや観光PRの一環として、①道の駅ぐるっとパノラマ美幌峠(美幌町)、②情報交流施設きよ〜る(清里町)、③オホーツク総合振興局(網走市)、④北洋銀行網走支店(網走市)でシーニックバイウェイパネル展を実施した。	SBW、観光のPRについて積極的に支援していきたい。	
	地域連携による地域情報の発信	東オホーツク・知床エリア「ヒヤリ・ハット見どころマップ」の作成	令和4年 7月25日、11月28日	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議(斜里エリア)	道路利用者に対する車両走行時の注意喚起を促すことを目的に、東オホーツク・知床エリアの「路線連絡会議」構成団体による取組として、当該エリア内の「ヒヤリ・ハットマップ」を制作し、SBWルート内の道の駅や女満別空港付近のレンタカー窓口、観光施設等での配布を行った。なお、「路線連絡会議」構成団体には、東オホーツクSBWの行政連絡会議も参加しており、網走開発建設部も協力して「ヒヤリ・ハットマップ」を作成した。	これらの取組は、道路利用者に対する注意喚起等を促すものであるが、回数を経る毎に地元における認知度が上がっていると思われるので、次年度以降も継続して行うと共に、近年増加している外国人を対象とした外国語版の作成を行っていきたい。	
観光							